

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		9-	4
事業名	子育て支援センター経費	会計	款	項	目
政策	2 次世代を育むために	一般	3	2	3
施策	2-1 子育て支援の充実	課名	子ども家庭課		
		係名	子ども支援係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	未就園の幼児とその保護者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	未就園の幼児とその保護者を対象に、保育園、幼稚園の場所を提供し、保護者とのコミュニケーションを持っていただくことにより住民の子育て支援を図る。
事業内容	月～金まで、「なかよし広場」を開催するとともに、月2回各園を開放するちびっこパークを実施する。また月2回各地区に出向いて行う「おでかけ広場」を実施し、未就園の幼児とその保護者を対象として受入れを図る。その中で、子育てに係る悩み相談や育児相談を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1	子育て支援センター利用者数				人回/月		350	
2									
3									
4									
5									
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			21,574		17,512		18,629		
財源内訳	直接事業費 A		5,626		2,212		1,727		
	うち一般財源		16,062		11,648		12,909		
人件費 (千円) B			15,948		15,300		16,902		
内訳	一般職員 (人・千円)		1.98	13068	1.5	9900	1.47	9702	
	臨時職員 (人・千円)		1.6	2880	3.0	5400	4.0	7200	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	子育て支援機能の充実を図るため、運営方法等について、利用者の意見を聞きながら検討していく。また子育て支援ネットの会との運営上の調整を図る。	③取組の課題	コロナ禍における魅力あるイベントの検討と、父親が参加できるような仕組みづくりを行う必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	子育て支援センターをふれあいセンター2階に移設し、より安全でより快適な子育て環境を整備した。	④今後の改善計画	子育て世代のニーズに合わせた運営方法の検討と、利用者増にむけたPRを行う。また、地域の子育て支援団体の育成を図る。